

強竊盜ヲ以テ論ストセリ

第二百四十三條 第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條乃至第二百四十一條ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【釋義】 略之

第二百四十四條 直系血族、配偶者及ヒ同居ノ親族又ハ家族ノ間ニ於テ第二百三十五條ノ罪及ヒ其未遂罪ヲ犯シタル者ハ其刑ヲ免除シ其他ノ親族又ハ家族ニ係ルトキハ告訴ヲ待テ其罪ヲ論ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

【字義】

直系血族 ……トハ祖父母、父母、子、孫ノ如ク尊親屬ヨリ直下スル血族ヲ云フ
家族 ……トハ尸主ト同一家籍ヲ有スル尸主以外ノ者ヲ云フ其家ニ籍ナキ者ハ幾十年同居スト雖モ家族ニアラス

【釋義】

本條ハ親族相盜ノ罪ニシテ舊刑法第三百七十七條ト其主旨ヲ同シク
ス即チ親族間ニ於ケル竊盜行爲ハ或ハ其罪ヲ論セス或ハ告訴ヲ待テ論スルコト、セリ其理由ニ關シテハ舊法時代ニ二種ノ說アリ曰ク親族間ニ於テハ互ニ
特有ノ財産ヲ有スルモノナキカ故ニ其間ニ於ケル盜取ノ行爲ハ猶自己ノ物ヲ

盜取スルト同シク根柢ヨリ罪ヲ構成セスト然レトモ個々獨立ノ財産ヲ有スル
コトヲ認ムルニ至リタル今日ニ於テハ斯ル學說ノ存在ヲ許サス畢竟或ル親密
ナル親族間ノ平和ヲ維持センカ爲メ之ヲ罪トシテ論セサルモノニシテ道義若
クハ公益ニ基キタル規定ト謂フノ外ナシ然レトモ其他ノ親族間ニ於テハ其親
密ノ度モ薄ク又爲メニ家内ノ平和ヲ破ルコトモ一般ニ少キカ故ニ告訴アル場
合ニハ竊盜トシテ論ス可キモノトセリ

而シテ例ヘハ別居セル傍系血族甲カ竊盜ニ罹リタルヲ以テ被害者ハ犯人カ自
己ノ親族ナルトキハ告訴ヲ取消スコトヲ以テ其事件ヲ告訴セリ然ルニ裁判所
ハ犯人ハ其親族乙タル可シトノ見込ヲ付ケタリ然レトモ其眞ニ乙タルヤ否ヤ
ハ確定裁判ヲ俟テ定マル可ク裁判ハ一旦確定セシ以上ハ之ヲ執行セサル可
ラス明リニ一私人ノ取消申出如何ニヨリ之ヲ變更ス可ラス然レトモ乙ニ對シ
テハ告訴セストスルモ尙其犯人ヲ定ムルノ必要アルカ故ニ確定裁判ヲ經サル
可ラス爲メニ現行犯若クハ自首ノ場合ノ外ハ本條ノ適用ヲ見サルカ如キ異様
ノ關係ヲ生スルニ至ル可シト雖モ畢竟スルニ訴訟法ニ於テ論議ス可キ事項ナ

ルヲ以テ茲ニ之ヲ述ヘス

本條第二項ハ第六十五條ノ規定ヨリ生スル當然ノ結果ナリトス

第二百四十五條 本章ノ罪ニ付テハ電氣ハ之ヲ財物ト看做ス

【釋義】 已ニ第二百三十五條ニ於テ述ヘタルカ如ク電氣ハ有體動産ニアラザルカ故ニ財物ト稱スル能ハス然レトモ製造工業ノ發達セル今日ニ於テ電氣ノ力ヲ竊取スルノ行爲往々ニシテ見ル處ナリ而シテ舊刑法ハ之ニ關スル規定ナカリシヲ以テ學者實際家ノ間ニ議論ヲ生シタルコトアリシヲ以テ本條ニ於テ明カニ財物ト見做スト規定シ疑義ヲ解決セリ余輩ハ立法者カ汎ク電氣其他ノ力(原動力又ハエネルギー)ハ之ヲ財物ト看做ストセサリシヲ遺憾トスルモノナリ

第三十七章 詐欺及ヒ恐喝ノ罪

第二百四十六條 人ヲ欺罔シテ財物ヲ騙取シタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

【字義】

人……トハ自然人ヲ云フ

欺罔……トハ他人ヲシテ人、物又ハ事實ヲ誤信セシメ錯誤ニ陥ラシメタル行爲ヲ云フ換言スレハ一他人ヲシテ人、物又ハ事實ヲ誤信セシメントスル行爲ニヨリ(二)他人カ人、物又ハ事實(ナ誤信シ錯誤ニ陥リタル事實アレハ是ル錯誤トハ體象ト觀念トノ齟齬ナリ即チ其人ノ知ル處ト其指ス處ト相違スルヲ云フ其相違ノ原因ナ間ハス或ハ人ニ欺カレ或ハ自ラ誤信スルコトアリ其過失ト異ル點ハ過失ハ不注意ヨル來ル意思ノ特別ナル狀態ナリ民法上ニ於テ單ニ事實ノ錯誤ヲ以テ無効ノ原因トセリ然レトモ此事實ハ廣義ニシテ余輩ノ謂フ人、物事實ノ三者ヲ含ムモノト知ルヘシ

騙取

……トハ詐欺行爲ノ結果トシテ被欺罔者又ハ其他ノ者カ其所持セル財物ヲ欺罔者ニ交付センコトヲ決意シタル事實及ヒ所持者カ交付セント決意シタル財物ヲ取去ル行爲ヨリ成立スルモノトス故ニ騙取ノ財物ハ必スシモ被欺罔者ノ所有又ハ所持ニ係ルモノタルヲ要セス然レトモ贓物ヲ騙取スルハ本條ノ罪ニアラスシテ第二百五十六條ノ罪タルヘシ交付ト云ヘルハ贈與交換買賣其他總テノ動産上ノ權利ヲ遷移スル法律行爲ヲ云フ交付ヲ受クル者必ス欺罔者ナラサル可ラス欺罔ノ結果欺罔者以外ノ者ニ交付シタルトキハ本條ノ騙取行爲ト云フ能ハス強取ト騙取トノ異ナル處ハ其交付カ一ハ合意ニヨリ一ハ強制ニ出ツ

【釋義】

本條ハ舊刑法第三百九十條ト同一ノ主旨ニシテ多少ノ修正ヲ加ヘタ

ルモノナリ舊刑法ハ財物若クハ證書類ヲ騙取シタル者トセルモ證書類ハ財物中ニ當然包含セラレ、ヲ以テ之ヲ削リ尙恐喝ニ關シテハ第二百四十九條ノ一條ヲ設ケタリ而シテ本條ノ罪ハ人ヲ欺罔シテ錯誤ニ陥ラシメ財物ヲ交付セシメタル者ヲ處罰スルノ規定ナリ本章ニ所謂財物トハ前章竊盜ノ場合ト異リ其意義甚タ廣ク余輩ノ見解ニヨレハ動産ハ勿論不動産ヲ贈與賣買授受シ或ハ權利ヲ取得消滅セシムル場合モ亦財物ノ騙取ト云フコトヲ得ス

第二百四十七條 他人ノ爲メ其事務ヲ處理スル者自己若クハ第三者ノ利益ヲ圖リ又ハ本人ニ損害ヲ加フル目的ヲ以テ其任務ニ背キタル行爲ヲ爲シ本人ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタルトキハ五年以下ノ懲役又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

【釋義】 本條ハ背信罪ノ一種ニシテ他人ノ爲メニ或ル事務ヲ處理スル者自己又ハ第三者ノ利益ヲ計リ其委任セラレタル職務ニ基キ本人ノ財産上ニ損害ヲ加ヘタルモノニシテ例ヘハ商店員カ自己ノ利ヲ圖リ其信用ニ背キ店主ニ財産上ノ損害ヲ加ヘタル場合ノ如シ此種ノ行爲ハ社會ノ進化ニ伴隨シ奸智ノ増加

スルニ從ヒ屢々實際ニ生スル事項ニシテ單ニ民法上ノ損害賠償ノミヲ以テ之ヲ制裁防止スルコト能ハサルヲ慮リ本條ヲ規定セリ

第二百四十八條 未成年者ノ知慮淺薄又ハ人ノ心神耗弱ニ乘シテ其財物ヲ交付セシメ又ハ財産上不法ノ利益ヲ得若クハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

【釋義】 略之

第二百四十九條 人ヲ恐喝シテ財物ヲ交付セシメタル者ハ十年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ方法ヲ以テ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメタル者亦同シ

【釋義】 本條ハ恐喝ヲ手段トシテ財物ヲ交付セシメタル場合ニ關スル規定ナリ恐喝トハ脅迫ト同シク唯程度ノ差アルニ過キス故ニ正確ナル區別ヲ立ツルコト困難ナリ強テ區別スルトキハ脅迫ハ危害ノ程度目前ニ迫レルヲ示スヲ云ヒ恐喝ハ例ヘハ新聞紙上ニテ名譽ニ關スル記事ヲ掲ク可シト云フカ如キ類ニ

シテ直接ニ目前ノ危険ヲ感スルニアラサルヲ云フ
第二項ニ於テ恐喝ニヨリ財産上不法ノ利益ヲ得又ハ他人ヲシテ之ヲ得セシメ
タル者ヲ同一ニ處罰スル所以ハ第二百四十六條第二項ト同一ノ理由ニ基ク

第二百五十條 本章ノ未遂罪ハ之ヲ罰ス

【釋義】 略之

第二百五十一條 本章ノ罪ニハ第二百四十二條、第二百四十四條及ヒ第二
百四十五條ノ規定ヲ準用ス

【釋義】 自己ノ財物ト雖モ他人ノ占有ニアル場合、親族ノ財物及ヒ電氣ヲ騙取
シタル場合モ亦之ヲ詐欺取財ノ罪トシテ論ス

第三十八章 横領ノ罪

第二百五十二條 自己ノ占有スル他人ノ物ヲ横領シタル者ハ五年以下ノ
懲役ニ處ス

自己ノ物ト雖モ公務所ヨリ保管ヲ命セラレタル場合ニ於テ之ヲ横領シ

タル者亦同シ

第二百五十三條 業務上自己ノ占有スル他人ノ者ヲ横領シタル者ハ一年
以上十年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十四條 遺失物、漂流物其他占有ヲ離レタル他人ノ物ヲ横領シタ
ル者ハ一年以下ノ懲役又ハ百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

第二百五十五條 本章ノ罪ニハ第二百四十四條ノ規定ヲ準用ス

【釋義】 所謂横領トハ不法ニ有體物ニ付キ所有權ニ類似スル支配ヲ爲ス行爲
ヲ云フ故ニ横領者ハ自己ノ占有セサル物ヲ横領シ若クハ他人ノ委託ニヨリ自
己ノ占有スル物件ヲ横領スルコトヲ得例ヘハ他人所有ノ物件ヲ第三者ニ外觀
的賣却ヲ爲スカ如キ若クハ自己ノ管理スル物件ヲ處分スル場合ヲ想像スルト
キハ不動産モ亦横領罪ノ目的物ト爲スコトヲ得ヘシト雖モ刑法上横領罪トシ
テ見ル可キモノハ單ニ動産ニノミ關スル罪ニシテ且特ニ横領者ノ占有セル動
産ノミニ關ス(第二〇二條)斯ノ如ク横領罪ハ常ニ横領者ノ所持スル他人ノ所有
動産ニ關スルヲ原則トスト雖モ自己ノ所有ニ係ル他人ノ所持又ハ保管ノ物件

ハ自己ノ所有權ノ行使ヲ制限セラレ殆ント他人ノ所有ト同一ノ狀態ニアリ而シテ之ニ對シ普通ノ所有權者ト同一ノ支配處分ヲ爲スハ他人ノ管理所持ノ權利ヲ侵害スルモノナルヲ以テ第二百四十六條第二項及ヒ第二百四十九條第二項ト同様ニ之ヲ横領ノ目的物ト爲スコトヲ得トセリ尙遺失物漂流物其他他人ノ占有ヲ離レタル物ニ關シテハ夫レ々々相當ノ法規アリ之ニ從テ處分セサル可ラサルニ拘ラス之ヲ無視シテ自己ノ所有物ノ如ク處分セルモノナルヲ以テ之ヲ處罰セル所以ナリ尙本章ノ罪ニ關シテハ舊刑法第三百九十五條第三百九十六條第二百八十九條第二百五十四條第二百五十五條ヲ參照スヘシ

第三十九章 贓物ニ關スル罪

第二百五十六條 贓物ヲ收受シタル者ハ三年以下ノ懲役ニ處ス

贓物ノ運搬寄藏故買又ハ牙保ヲ爲シタル者ハ十年以下ノ懲役及ヒ千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百五十七條 直系血族配偶者同居ノ親族又ハ家族及ヒ此等ノ者ノ配

偶者ノ間ニ於テ前條ノ罪ヲ犯シタルトキハ其刑ヲ免除ス

親族又ハ家族ニ非サル共犯ニ付テハ前項ノ例ヲ用ヒス

【字義】

收受……トハ交付ヲ受ケルコトヲ云フ其贈與、賣買、讓渡其他ノ形式ニヨリ有價若クハ無價ニテ甲ヨリ乙ニ交付移轉スルヲ云フ

贓物……トハ犯罪ニヨリテ占有ヲ取得シタルモノヲ云フ例ヘハ竊取物、強取物又ハ欺罔、恐喝ニヨリ騙取若クハ交付ヲ受ケタル物又ハ遺失物ヲ藏匿セルモノ等ヲ云フ金貨ヲ破壞スルハ犯罪ナリ之ヲ破壞シテ指輪ヲ作りタル場合ニ指輪ハ之ヲ贓物ト云フコトヲ得ス是レ犯罪ニヨリ生シタル物件ナルヲ以テナリ贓物ハ多クハ犯罪ニヨリ得タル物件ナリ(第一九條參照)

寄託……トハ寄託ヲ受ケテ贓物ヲ藏匿スルヲ云フ

故買……トハ贓物タルコトヲ知リテ買取ルコトヲ云フ

牙保……トハ贓物收受ノ取次ヲ爲スヲ云フ

【釋義】

贓物ノ處分ヲ容易ニシ其犯跡ヲ緝マヌニ便益ヲ與フルモノハ此等ノ贓物ヲ收受シ或ハ寄藏シ牙保スル等ノ行爲ナリ故ニ此等ノ行爲ハ間接ニ犯罪行爲ヲ幫助教唆スル作用ヲ爲スノミナラス犯人ノ檢舉ニ大ナル妨害トナルヲ以テ第二百五十六條ニ於テ之ヲ處罰スル所以ナリ而シテ第二百五十七條ヲ設ケタルハ第二百四十四條ト同一ノ理由ニ基ク尙本章ノ罪ニ關シテハ舊刑法第

第四十章 毀棄及ヒ隱匿ノ罪

第二百五十八條 公務所ノ用ニ供スル文書ヲ毀棄シタル者ハ三月以上七年以下ノ懲役ニ處ス

第二百五十九條 權利義務ニ關スル他人ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス

【釋義】 前二條ハ舊刑法第二百二條乃至第二百七條及ヒ第四百二十四條ノ規定ヲ修正シタルモノニシテ特ニ説明ヲ要ス可キ點ナシト雖モ解釋上ノ便宜ノ爲メ二三ノ字句ヲ説明シ置カン

一 文書ヲ毀棄スル トハ文書ヲシテ其效用ヲ失ヒシムルヲ云フ故ニ章句ニ關係ナキ白地ノ箇所ヲ破ルモ毀棄ニアラス(形式ヲ要スルモノハ其形式ヲ欠クニ至レハ毀棄ナリ)

毀棄トハ單ニ思想ヲ記セル物體ヲ破壊スル行爲ノミニ止マラス之ニ加筆シ

テ意味ヲ爲サ、ルニ至ラシメ或ハ紙ヲ貼布スル等他物ヲ附加スル場合モ爲メニ用ヲ爲サ、ルニ至リタル場合ハ凡テ毀棄ト稱スルヲ得行使ノ目的ヲ以テ他ノ意味ヲ有スル文書ニ書キ直シタル場合ハ毀棄ニ非スシテ變造ナリ

二 權利義務ニ關スル他人ノ文書 トハ其文書カ權利義務自體タル手形ノ如キモノヨリ權利義務ヲ證明スルノ用ニ供ス可キ普通ノ證書類書信等ニ至ルマテノ總テノモノヲ云フ特ニ證書トシテ記載シタルモノナルコトヲ必要トセス其文書ハ自己ノ所持内ニ在ルモノタルト否ト又自己ノ認メタルモノナルト否トヲ區別セス

第二百六十條 他人ノ建造物又ハ艦船ヲ損壞シタル者ハ五年以下ノ懲役ニ處ス因テ人ヲ死傷ニ致シタル者ハ傷害ノ罪ニ比較シ重キニ從テ處斷ス

第二百六十一條 前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル者ハ三年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

【釋義】 第二百六十條ニ於テ他人ノナル字句ハ總テノ條文ノ權衡上他人ノ建

造物又ハ他人ノ艦船ト解釋スルヲ至當ナリト信ス若シ果シテ然リトセハ自己ノ艦船ヲ損壞シタルトキハ之ヲ處罰スル能ハサルニ至ル可ク第十一章ノ罪トノ權衡ヲ失スルニ至ル故ヲ以テ論者或ハ曰ハン第二百六十一條ハ其欠ヲ補ハシカ爲メニ設ケラレタル規定ナリト第二百六十一條ニ前三條ニ記載シタル以外ノ物ヲ云々トアリ此以外ノ物トハ如何ナル意味ヲ有スルカ左ニ各三條ノ場合ニ付キ論定セント欲ス

- 一 公務所ノ用ニ供スル文書以外ノ物ヲ損壞又ハ傷害シタル場合(第二五八條)ニ於テ以外ノ物トハ公務所ノ用ニ供スル文書以外ノ物ヲ云フカ或ハ公務所ノ用ニ供スル物品ノ中文書ヲ除ク外視家屋椅子等ヲ云フカ其文言甚々不明ナリト雖モ吾人ハ文書以外ノ物ト解スルヲ以テ當ヲ得タルモノト信ス
- 二 權利義務ニ關スル他人ノ文書以外ノ物ヲ破壞シタル場合(第二五九條)ニ於テモ亦同シク他人ノ文書ニシテ權利義務ニ關スルモノ以外ノ文書ノ意ナルカ或ハ權利義務ニ關スル他人ノ文書以外ニ種々ノ物件ヲ他人ハ有ス可ク即チ此等ノ物件ヲ破壞スルノ意ナルカ不明ナリト雖モ余輩ハ第二百六十條ト

ノ權衡上範圍上ヨリシテ前條ニ反シ他人ノ權利義務ニ關スル文書ヲ意味スルモノナリト解スルヲ至當ト信ス

三 他人ノ建造物又ハ艦船以外ノ物ヲ損壞シタル(第二六〇條)トハ他人ノ建造物又ハ艦船以外ノモノ即チ自己ノ建造物又ハ艦船ナリヤ若クハ他人ノ物件ニシテ建造物又ハ艦船以外ノ物件即チ硯机等ヲ意味スルヤ不明ナリト雖モ余輩ハ後説ヲ採ル者ナリ

以上論述セル處ヲ見ルニ第二百六十一條ニ所謂以外ノ物ノ解釋ハ前三條各ニヨリ異リ一律スル所ナシ是レ第二百六十一條ノ文字ヲ節約セルカ爲メニ起リタル疑義ナリトス

第二百六十二條 自己ノ物ト雖モ差押ヲ受ケ物權ヲ負擔シ又ハ賃貸シタルモノヲ損壞又ハ傷害シタルトキハ前三條ノ例ニ依ル

【釋義】 本條ハ自己ノ物件ニ對スル損壞ノ罪ヲ規定セリ其理由ニ關シテハ第二百四十二條、第二百五十一條ヲ參照スヘシ

第二百六十三條 他人ノ信書ヲ隱匿シタル者ハ六月以下ノ懲役若クハ禁

銅又ハ五十圓以下ノ罰金若クハ科料ニ處ス

【釋義】 信書ノ秘密ヲ犯ス行爲ニ對スル制裁ハ已ニ第三百三十三條ニ於テ信書ヲ隱匿スル罪ニシテ信書ノ秘密並ニ通信往來ノ妨害罪補足ノ規定ナリト云フコトヲ得ヘシ蓋シ通信ニ因リ諸般ノ行爲ヲ爲スニ至レル近時ノ社會狀態ニ於テハ通信ハ諸般ノ方面ニ於テ利害關係ヲ有スルモノナリ隨テ他人ノ利益ヲ害シ自己ノ利便ヲ企テ他人ノ信書ヲ隱匿スル者往々ニシテ生スルヲ以テ特ニ通信ノ正確ヲ保護シ併セテ信書ノ秘密ヲ保障センカ爲メニ本條ヲ設ケタリ本條ニ於テハ何等ノ制限ナキカ故ニ信書ヲ隱匿スルノ意思ヲ以テスレハ必スシモ害意アルヲ要セス信書ハ已ニ披見セシモノタルト未タ開封セサルモノタルトヲ問ハス通常信書ト云フトキハ親展封書ト誤解スル者一般ナリト雖モ本條ニ謂フ信書ハ親展封書ハ勿論葉書類ヲモ含ムヲ以テ特ニ注意ス可シ

第二百六十四條 第二百五十九條、第二百六十一條及ヒ前條ノ罪ハ告訴ヲ

待テ之ヲ論ス

【釋義】 文書ノ必要、尊重ノ程度若クハ信書ノ秘密其他本條列舉ノ三個條ニ記

載スル事項ハ各人ノ感想ニ因リ各利害ヲ感スルノ厚薄アリ故ニ假令他人ノ權利ニ關スル文書ヲ破ルモ被害者ニ於テ殆ント念頭ニ置カサル場合ニモ尙國家ハ進ンテ犯罪必罰ノ原則ノ適用ヲカムルノ必要ナシ故ニ被害者ヲシテ其選擇ニ委シ申告セシムルコト、セリ是レ名譽ニ關スル罪ニ於テ論述シタル處ト同一ノ理由ニ出ツ

新刑法正義 畢

明治四十年八月二十日印刷
明治四十年八月二十三日發行

不許複製

著者
發行者
印刷者
發行所
印刷所
賣捌所

奧村政雄

田島義方

東京市本郷區駒込曙町十五番地

竹村賴堅

東京市本所區長崎町十二番地

明治大學出版部

東京市神田區駿河臺

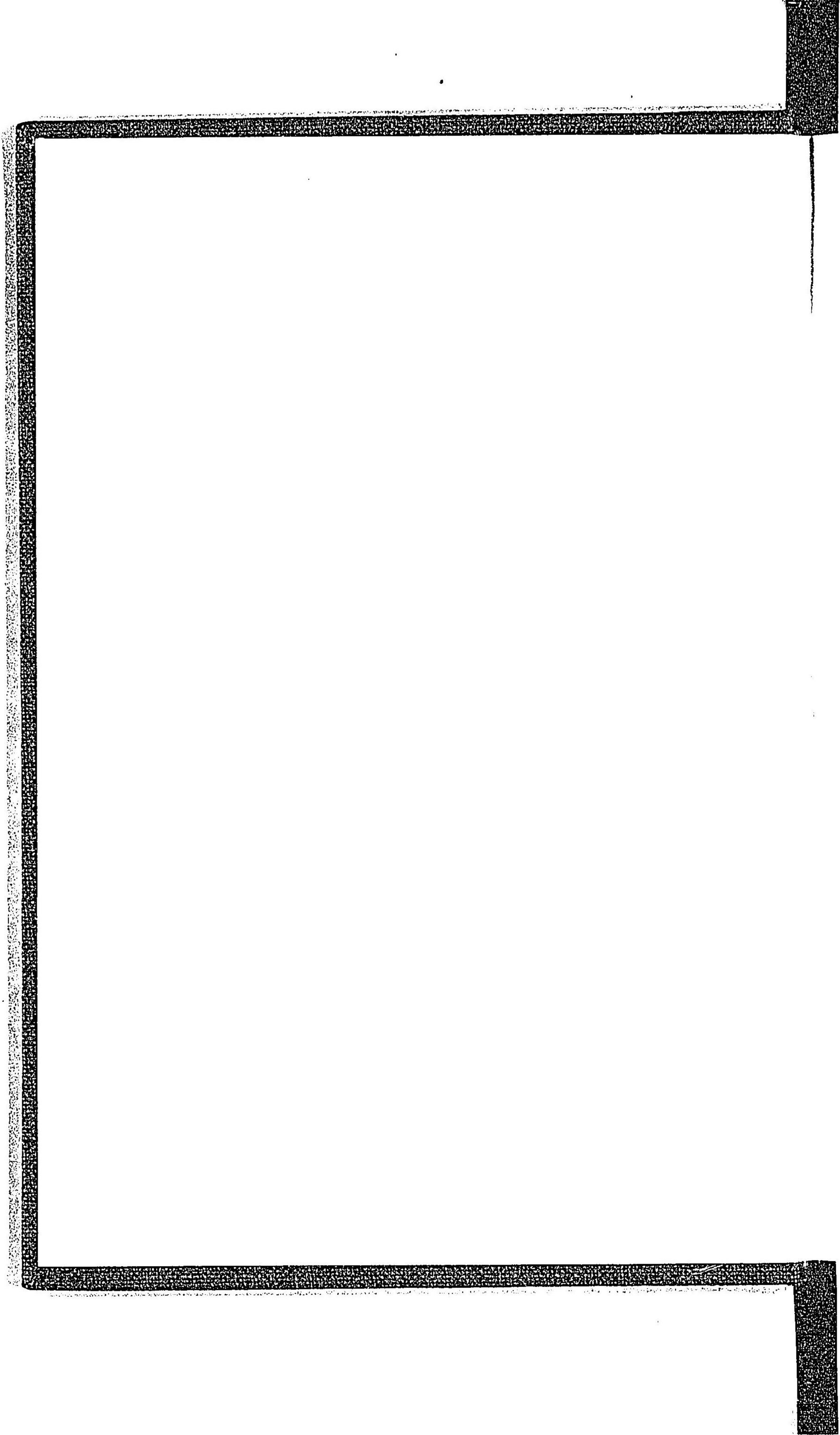
三光堂

東京市神田區美土代町三丁目一番地

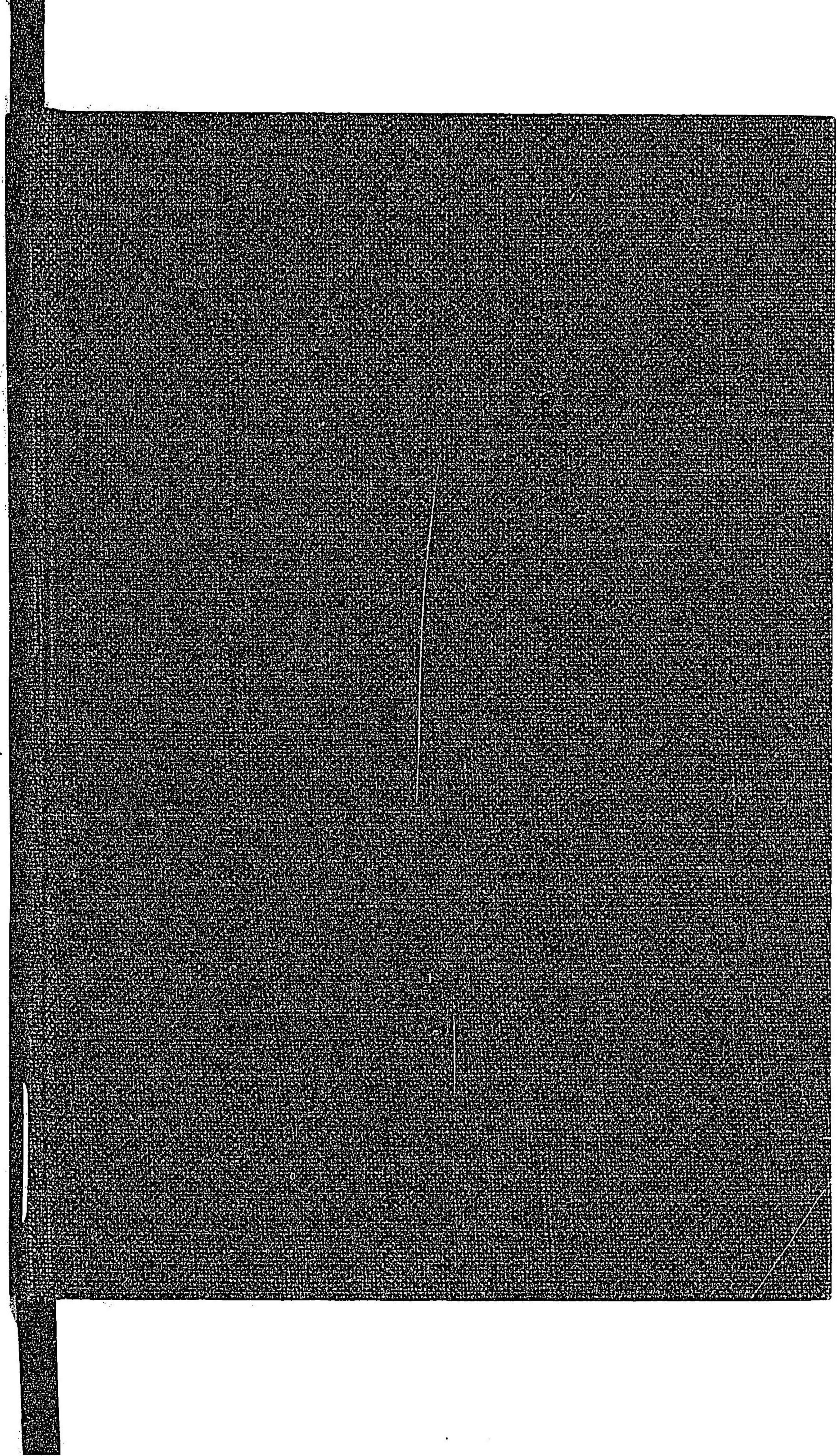
有斐閣

東京市神田區一ツ橋通南

新刑法正義奥付
正價壹圓貳拾錢
但上製本別貳拾錢
賣二一五錢ヲ増入



Blank page with faint, illegible text impressions.



90

232

036042-000-4

90-232

新刑法正義

奥村 政雄 / 著

M40

BBP-0670



